

製品拡充で積極展開

液体のキラ剤投入 油性・UV両方に対応

ダイヤアクアソリユーションズ

塗装ブース処理剤

ダイヤアクアソリユーションズ(DAS)は、塗装ブース処理剤事業を積極的に拡大する。液体のキラ剤「ネオソルAQ」を今春市場投入したもので、これにより液体と粉体のキラ剤(不粘着化剤、消臭剤、凝集剤といった一連の製品が揃った。とくにUV塗料のキラ剤では液体品が求められていたことから、これを機に「ネオソル」シリーズを売り込み、柱の1つにする。

一般に塗装工場では、未塗着塗料を水で捕集する「水洗式塗装ブース」が採用されている。塗装ブースでは未塗着塗料が粘着し、固形化するなどしてさまざまな障害を引き起こす。また循環水が徐々に濃縮し、悪臭を発生

させたり、泡立ち、pH低下による腐食障害などを引き起こす。これらの問題を解決するために、は、その障害に応じた適切な薬剤を用いる必要がある。

同社はキラ剤としてすでに油性塗料用の「ネオソルAG」とUV塗料用の「同AU」を発売しているが、いずれも粉体品のため需要家からは液体品が望まれていた。新製品の「同AQ」は油性・UV塗料の両方に対応する。

また、同社はこれらキラ剤に過酸化水素系薬剤、もしくは過炭酸ナトリウム系薬剤を併用することで塗料スラッジの分散性が高まり、腐敗臭を改善できることがわかり、国内特許を取得するとともに、過酸化水素系薬剤を「ネオソルDP」、過炭

酸ナトリウム系薬剤を「同PQ」として昨年発売した。「同DP」は液体、「同PQ」は固体となっている。分散塗料捕集に用いる凝集剤は「ネオソルSA」の商品名で販売している。

同社は塗装ブースに関するさまざまな障害に対し、ネオソルシリーズを効果的に組み合わせた処方案を提案し、塗装ブースのメンテナンス軽減と長期にわたる良好な運転を実現する。